

ポスターセッションについて

行動経済学会第6回大会では、初めてポスターセッションを導入いたしました。このセッションの報告者には、研究成果の概略をA0用紙サイズ内（1189mm×841mm）にまとめたポスターを設置ボードに掲示し、各自がポスター前で質問者に口頭で答える機会が与えられます。詳細は後日に大会HPで発表しますが、大会1日目の昼食時に約2時間のポスターセッションの時間が設けられます。

ポスターの作成方法の一例としては、Microsoft Office の Publisher というソフトウェアを使って、A0サイズのページ上で作業して pdf ファイルとして内容を保存し、それを生協や Fedex Kinko's などの業者に依頼して A0 サイズポスターにしてもらうことです（業者に支払う費用は数千円程度）。ワードやエクセルなど Microsoft Office 系のソフトを使っている研究者には、それらのソフトと互換性が高く、新たにソフトウェアの使い方を習う必要がないというメリットがあります。その他のポスター作成方法については、日本経済学会 2012 年度春季大会プログラム委員会

(http://www.jeaweb.org/jpn/strage/Meetings2012S_Poster.html) の説明が参考になると思います。

2012 年 7 月 11 日

行動経済学会 第 6 回 プログラム委員会
委員長:大垣昌夫(慶應義塾大学)